

こっこめ通信 06 2025

「体験から得るもの」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

5月は穏やかな天候な日が多いのですが、今年は中旬からすでに梅雨のような空模様が続きました。月の降水量は平年の二倍近い549mmも降り、雨が降っただけではなく、日照時間も少なく、太陽が恋しい5月でした。このまま6月も雨の日が多いのか？一気に前線が上がって夏が来るのか？台風が発生してないのが気になります。さて、今回は「島の中学生が職場体験！」と「八丈学講座『着生植物を観察しよう』その2」についてのお話です。

島の中学生在職場体験！

5月に島内の中学2年生2名が、別々の時期にそれぞれ3日間と2日間、八丈ビジターセンターにて職場体験を行いました。自然や文化の情報発信の拠点でもあるビジターセンターでの体験を通して、生徒たちにとって“働くこと”への理解を深めるとともに、八丈島の魅力を再発見する機会となりました。

最初に参加したのは大賀郷中学校のKさん。やや緊張気味のスタートでしたが、静かにじっくり取り組む姿が印象的で、島の自然と向き合う中で少しずつ表情が柔らかくなっていきました。初日の午後、潮溜まりへ行き、水槽の中へ入れる生き物の採取に挑戦。2日目は、午前になくなった樹名板（樹木の名前を記した札）の更新作業に取り組んだ後、午後に海辺へ移動して海浜植物の調査を体験。3日目は園内作業が中心の1日で、午前は「季節の見どころ」の撮影を行いました。午後は園内の自然調査に同行しながら野外解説にも挑戦し、来園者へ自分の言葉で地形と温泉の関係を分かりやすく説明。さらにこの日は、「光るキノコ」の展示メンテナンスも体験。3日間通して楽しかった作業は「水槽の餌やり」と振り返ってくれたKさん、丁寧な仕事ぶりが印象的でした。



次に参加したのは富士中学校のYさんで、明るくしっかりした印象の生徒さん。初日から館内の来館者対応に積極的に取り組む一方で、「こっこめ通信」の発送準備などの事務作業もテキパキとこなし、午後には園内調査として「季節の見どころ」を写真に収めながら、「この木の花はいつ咲くんですか？」と職員に次々と質問を投げかけ、自然の中で自ら発見し、理解を深めようとする姿が印象的でした。2日目は、水槽の生き物たちへの餌やり作業からスタート。その後の来館者対応では、初日以上に自信をもって展示内容（特に水槽）を紹介する姿が光っていました。午後は野外調査として野鳥観察に出掛け、双眼鏡とカメラを手に鳥の姿を探しました。本人は「こんなに鳥がいないうと思わなかった」とやや驚きつつも、モズやサギの姿を見つけた時には夢中でシャッターを切るなど、観察の難しさと喜びを実感していたようです。所属する部活動の遠征の関係で予定よりも短い勤務時間とはなりましたが、限られた時間の中でも多くの発見と学びが詰まった2日間でした。



それぞれ異なる個性を持つ2人の生徒が、八丈ビジターセンターというフィールドで自然や人と関わり、主体的に学びを深めた体験となりました。共通していたのは、「もっと知りたい」「もっとやってみたい」という前向きな姿勢です。そしてこの職場体験が、生徒たちの成長の場であると同時に、私たち職員にとっても、自然への純粋な好奇心や発見の驚きを思い出させてくれる、「初心に帰る」時間となっていたことを気付かされました。(R.T.)

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈学講座「着生植物を観察しよう」その2

2024年6月の八丈学講座で、ビジターセンターからブーゲン広場、ビロウ広場に植栽されているヤシ類の着生植物調査を行い、行事の様子やデータをこっこめ通信 2024年7月号で紹介しました。そして今回はその第二弾として、メインエントランス周辺のヤシ類の着生植物の調査・観察を行いました。

昨年の観察では、ビロウとカナリヤシの2種類でしたが、メインエントランスには、カナリヤシ、セネガルヤシ、サバルヤシ、ヤタイヤシ、ワシントンヤシモドキの5種と種が不明のフェニックス属の仲間もあります。ビロウの並木もありますが、古葉をしっかりと管理しているため着生植物がほぼ着生していないため除外しています。

当日は雨も降り、参加者が2名と少なかったですが、スタッフも2名が参加して細かく観察し、データを下の表にまとめました。調査したヤシ類の場所は右の地図番号になります。今回の場所は、地衣類がとても目立ったので、植物ではありませんが、データに加えています。

前回に比べて着生している種も数もとても少ない結果となりました。風が当たる場所であることや公園の玄関口で古葉の管理が行き届いているため鳥が休む場所も少ないことも影響しています。また、サバルヤシは古葉がほぼ残らず、樹皮も硬いため、着生しにくいのかもしれません。

場所によって違う結果が出ているので次もありですね。(H.T.)



駐車場奥のカナリヤシ



カナリヤシに着生するガジュマル



サバルヤシに着生するコアミゴケ?

樹名		K	K	K	K	K	K	W	W	SE	Fs	Fs	K	Y	K	Fs	K	SA	SA	SA	SA	SA	SA	SA	SA	T	
樹木番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
シダ	オオタニワタリ		●				●																				風
	タマシダ	●	●	●	●	●	●						●	●	●		●			●	●						風
	ノキシノブ		●				●			●		●				●										●	風
	ヒトツバ	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●		●	●			風
	マツバラン													●													風
木本	イヌビワ					●											●										鳥
	カジイチゴ		●											●													鳥
	ガジュマル												●														鳥
	カナリヤシ													●													鳥
	トベラ	●	●									●	●				●										鳥
	ヒサカキ		●																								
	ヒメユズリハ												●				●										
草本	ススキ sp.											●	●		●		●				●						風
	ヘクソカズラ													●			●										鳥
	アカミゴケ sp.							●											●				●				風
	ウメノキゴケ sp.							●	●	●					●			●	●	●		●	●		●		風

K: カナリヤシ W: ワシントンヤシモドキ SE: セネガルヤシ Fs: フェニックス属の一種
Y: ヤタイヤシ SA: サバルヤシ T: トックリヤシ (ヤシの仲間ではないですが観察しました)

八丈植物公園季節調査会の報告

今回はメインエントランス付近を重点的に観察した後、定点植物の観察に行きました。ビジターセンターからメインエントランスに向かう両脇に植栽されているビロウヤシについて詳しく観察しました。ぱっと見に同じビロウヤシでも、アオビロウ（オガサワラビロウ）とアカビロウ（メイジマビロウ）の2種類が植栽されています。それぞれの違いを見比べながらどちらがアオビロウかアカビロウかを観察しました。メインエントランスの花壇の淵にはハタケニラがあり、雰囲気似ているノビルや名前が似ているハナニラと比較しながら相違点などをみんなで確認しました。(M.K.)

八丈植物公園季節調査 2025 年 5 月 11 日（日）、天気：くもり、気温：21.3℃ 調査者：6 名 VC：2 名

1	ヤブニッケイ	新芽、蕾、小さなヤブニッケイもち病菌			
2	タコノキ	気根の長さ 63.5cm、周囲 10.5cm、雌株に実			
3	オオタニワタリ	最長丈 77cm、幅 14.8cm、新芽、孢子囊			
4	ニオイウツギ	花			
5	ニオイバンマツリ	花、芳香放つ			
6	オオシマザクラ	実、ハバチの食害			
7	アオビロウ	花	30	セネガルヤシ	花
8	アツバスミレ	花	31	タブノキ	新芽
9	イヌビワ	実	32	チガヤ	花
10	ウスベニチチコグサ	花	33	チチコグサ	実
11	ウスベニニガナ	花	34	ツボミオオバコ	花
12	ウツボ	花	35	ツメクサ	花
13	オオバヤシャブシ	若い実	36	テイカカズラ	蕾
14	オオムラサキシキブ	蕾	37	トキワハゼ	花
15	ガクアジサイ	蕾	38	ドクダミ	花
16	カタバミ	花	39	ナガエコミカンソウ	花・実
17	キツネノボタン	花	40	ニラバラソ	花
18	クスノキ	赤い新芽	41	ニワゼキショウ	花
19	クッカバラ	蕾・花	42	ノアサガオ	花
20	クワ	実	43	ハタケニラ	花
21	クワズイモ	蕾	44	ハチジョウイボタ	蕾
22	コケリンドウ	花・実	45	ハチジョウグワ	実
23	コメツブツメクサ	花	46	ハハコグサ	花
24	コモチマンネングサ	花	47	ハルジオン	花
25	シロバナマンテマ	花	48	ヒナギキョウ	花
26	スイカズラ	花	49	ヒメコバンソウ	花
27	スズメノカタビラ	花	50	フウトウカズラ	雄花・雌花
28	スズメノヤリ	実	51	フェイジョア	蕾
29	セイヨウタンポポ	花	52	ホウライカズラ	蕾
53	マツバウンラン	花	54	ムラサキカタバミ	花
55	ヤエムグラ	実	シダ植物		
1	イシカグマ	孢子囊	2	オオイタチシダ	
3	オニヤブソテツ	孢子囊	4	カニクサ	
5	タチクラマゴケ	紅葉	6	タチシノブ	
7	タマシダ	孢子囊	8	トラノオシダ	
9	ナチシケシダ		10	ノキシノブ	孢子囊
11	ハチジョウカナワラビ		12	ハチジョウシダ	
13	ヒトツバ	孢子葉	14	ヘラシダ	孢子囊
15	ホシダ		16	ホラシノブ	
17	マメヅタ		18	ミゾシダ	孢子囊

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。回は、園内の樹木に着生している「ウメノキゴケ」にスポットを当ててみたいと思います。



ウメノキゴケ *Parmotrema tinctorum*

ウメノキゴケ科ウメノキゴケ属。北海道から沖縄までの低地に広く分布しています。八丈島でもオオシマザクラやヤシ類などに着生しています。近い種が色々あるようですが、識別できていません。

二酸化硫黄(SO₂)濃度に影響を受けるため大気汚染指標生物になっています。八丈島のウメノキゴケは二酸化硫黄の影響が無いためか、かなり大きく成長しています。(H.T.)

2025 06

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク	2	3	4	5 芒種	6	7 ガイドウォーク
07:19 22:14 02:11 14:40	08:15 22:56 03:16 15:26	09:33 23:36 04:47 16:17	11:28 17:19 06:19 17:19	00:16 13:20 07:21 18:30	00:57 14:42 08:07 19:39	01:37 15:40 08:45 20:38
8 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	9	10	11	12	13	14 ガイドウォーク
02:15 16:26 09:20 21:29	02:52 17:06 09:55 22:11	03:26 17:43 10:29 22:48	04:00 18:18 11:03 23:22	04:32 18:53 11:37 23:54	05:05 19:28 12:12	05:40 20:05 00:28 12:49
15 ガイドウォーク	16	17	18	19	20	夏至 21 ガイドウォーク
03:42 17:12 10:23 22:35	04:07 17:47 10:51 23:07	04:32 18:23 11:21 23:37	04:58 18:58 11:52	05:24 19:34 00:06 12:24	05:51 20:14 00:35 12:58	06:19 20:59 01:07 13:35
22 ガイドウォーク	23	24	25	26	27	28 ガイドウォーク 八文学講座「潮だまりの 生きものを探そう」
01:07 15:38 08:21 20:29	01:57 16:42 09:13 21:33	02:46 17:35 10:03 22:27	03:35 18:23 10:50 23:14	04:23 19:05 11:36 23:57	05:09 19:42 12:19	05:55 20:15 00:37 12:59
29 ガイドウォーク	30					
06:40 20:43 01:18 13:36	07:26 21:09 02:00 14:11					

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
6/8 (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

八文学講座「潮だまりの 生きものを探そう」

毎月行っている八文学講座。潮だまりに行き、小さな魚や潮だまりに棲む生きものを探します。
6/28 (13:30～15:00) 中学生以上
現地(当日海況により決定) 集合・解散 参加費：50円 定員：10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日祝日及び休日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2025.6.1 第289号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/>

編集後記

毎年、中学校から職場体験の依頼があります。希望者がいない年もありますが、今年のように2つの中学校から希望者が出たのは初めてでした。島内にはもうひとつ、中学校があります。3つの中学校から希望者が出るような、魅力的な職場作りをしたいと思います。(H.T.)